

J R 四国労組ニュース

2023年4月3日（No.24） 発行責任者／大谷 清 編集責任者／石川 敏也

中期経営計画2025の折り返しとなる重要な年

アフターコロナの社会・経済へ柔軟に対応し、 反転攻勢を期して全組合員一丸で取り組もう！

J R 四国労組は昨年7月の大会で決定したスローガン「団結 創造 実践 全組合員の団結力と実践力で苦境を克服し誇りを持ち安心して働ける環境の実現を通じた明るい未来を創造しよう！」のもと、運動方針の3本柱である『安全・安定・安心輸送の確立』『組織の強化・拡大』『労働条件の改善』を中心に、積極果敢に活動を展開してきました。

2023年度は、3年にわたるコロナ禍、物価高騰等の影響が懸念されるものの、今年3月からはマスク着用の見直しが図られるとともに、5月には感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同等の5類相当へ引き下げられる予定であり、反転攻勢を成し遂げなければなりません。こうした中、若手・中堅層を中心とした離職拡大が労使にとって大きな課題となっています。会社が目指す「ありたい姿」に向けた取り組みを働く者の目線でよりよいものにすべく、「ユニオンビジョン2023・私たちが考える『持続可能なJ R 四国グループをつくる人財確保』～誇りを持ち安心して働き続けることのできる環境づくりに向けて～」を策定しましたが、諸活動を通じ共有を図りつつ、労使協議によって改善を果たし、課題解決に向け前進させていく考えです。特に、2023春闘で勝ち取った賃金改善の流れを継続することが重要です。

以上の認識のもと、J R 四国労組は、J R 四国及びジェイアール四国バスの責任組合として雇用と生活を守ることを念頭に、組合員とその家族の幸せ実現に向けて取り組む決意です。そして、そのためにも、J R 四国グループ2023年度事業計画の営業収益496億円、鉄道運輸収入212億円を確保すべく、グループ一体となった営業施策の推進に貢献するとともに、「四国再発見増収キャンペーン」「利用促進キャンペーン」の積極的な参加に向け、全組合員が一丸となって取り組むことを要請します。

2023年4月1日
四国旅客鉄道労働組合